

赤岳山行報告

【山城】八ヶ岳連峰

【コース】美濃戸口～行者小屋（幕場）～赤岳（地蔵尾根 2650m 地点より撤退）

【日時】H29年1月21日（土）～22日（日）

【天候】21日 雪のち晴れ 22日 雪～風雪

【参加者】CL 柘植秀樹 SL 澤田淳子 澤田路子 鈴木憲二（記録）

【山行タイム】

21日（土） 美濃戸口 10:30 → 美濃戸山荘 12:15 → 行者小屋幕場 15:30（泊）

22日（日） 幕場 8:00 → 地蔵の頭下部 9:20（ここで撤退） → 幕場 11:30 →
美濃戸口 13:30 → 帰葉 18:00

【山行報告】

☆21日（土）

当初の計画は御小屋尾根～阿弥陀岳の予定であったが、これまでの積雪、天候等の状況から直前で予備案の赤岳に変更した。雪が降りしきる中、美濃戸口（駐車場）から美濃戸山荘に向かって、重いリュックを背負いスタートする。林道を歩いていると山荘までの車が通り、歩くペースを邪魔されながら山荘に着く。山荘の先の分岐から南沢に入り、急坂を登ると晴れ間がのぞき始め、横岳～赤岳～阿弥陀岳が見えてくるとようやく行者小屋に着いた。

小屋近くの幕場にテント設営して水作りの準備していると、リーダーが水場があるとの情報を得て、プラティパスを持って行くと、ホースより水が勢いよく出ていた。水作りが省けて大変助かり、夕食も各自持参の食料、アルコールを美味しくいただいた。

寝る前に外に出ると、満天の星空で、明日の晴天に期待してシュラフに入る。



晴れ間に横岳の岩壁が顔を出す



快晴の赤岳に明日の登頂を願う

☆22日（日）

今日は赤岳アタックだが、昨夜の星空が嘘のような空で、周りの山々は見えず雪の中で、小雪が舞っていた。山の天気予報は雪で、稜線は風が約 20m/s と良くないので、撤退覚悟で出発する。樹林の中で早発したパーティーが続々と降りてくる。聞けば上部はジェットストリーム状態だそう。地蔵尾根を登り樹林帯を抜けると、聞いたとおり風雪が強くなり、トレースも薄くなってきたので、頃合いを見計らって地蔵の頭下部（2650m）で撤退し、幕場に戻る。



風雪にあきらめて地蔵尾根を下る



晴れていればこんな風景が見えるらしい

【感想】

久々の冬山テント泊で、期待と不安があったが、白銀の世界と21日のつかの間の晴れで、横岳、赤岳、阿弥陀岳が凜とそびえる景色、夜の満天の星空は感動であった。翌日の風雪は、冬山の天候急変を再認識した。

冬山での狭いテント生活もメンバーの協力で、安全に楽しく過ごす事を再確認出来た。メンバーの皆さん楽しい山行、有り難うございました。

鈴木憲治（記録担当）